

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年04月01日

計画の名称	稲美町公園施設長寿命化策定計画による安全・安心な公園づくり(防災・安全)											
計画の期間	平成31年度 ~ 平成35年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	稲美町											
計画の目標	公園施設の長寿命化を図るため、公園施設長寿命化計画策定を行い、主に公園施設の老朽化が激しく緊急性のある遊具等の改築・更新を実施し、公園利用者の安全・安心を確保する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	141	A	141	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	町内都市公園における公園施設長寿命化計画の策定割合を0%から100%とする。 計画策定した公園の割合を測定する。 (長寿命化計画策定率) = (長寿命化計画策定済みの公園数) / (長寿命化計画の対象とする公園数)	0%	100%	100%
2	長寿命化計画により平成35年度末までに改築・更新が必要とされた公園施設の整備達成率を0%から100%に向上させる。 長寿命化計画により、平成35年度までに改築・更新が必要とされた公園施設の整備達成率を測定する。 (改築・更新達成率) = (改築・更新済みの公園施設数) / (H35年未までの改築・更新を目標とする公園施設数)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------	-----------	---------------

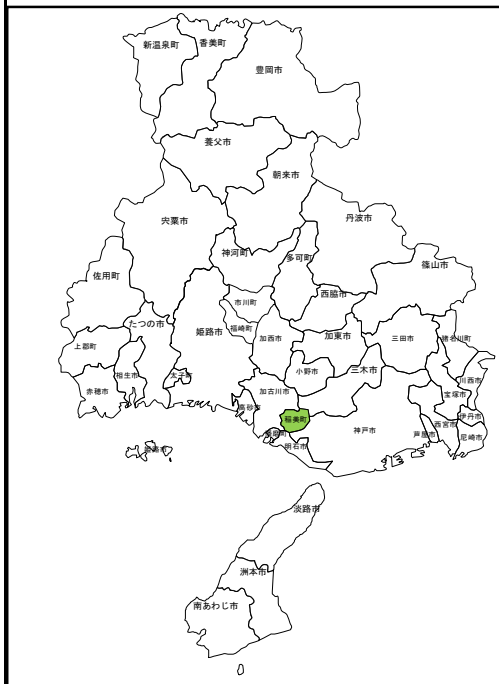
A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	H32	H33	H34	H35			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	稲美町	直接	稲美町	-	-	稲美町公園施設長寿命化 計画策定調査	公園数 N=55 面積A=30ha	稲美町						21	-	
	A12-002	公園	一般	稲美町	直接	稲美町	-	-	稲美町公園施設長寿命化 対策支援事業	都市公園における施設の改築 ・更新	稲美町						120	-	
	H31策定予定																		
												小計						141	
												合計						141	

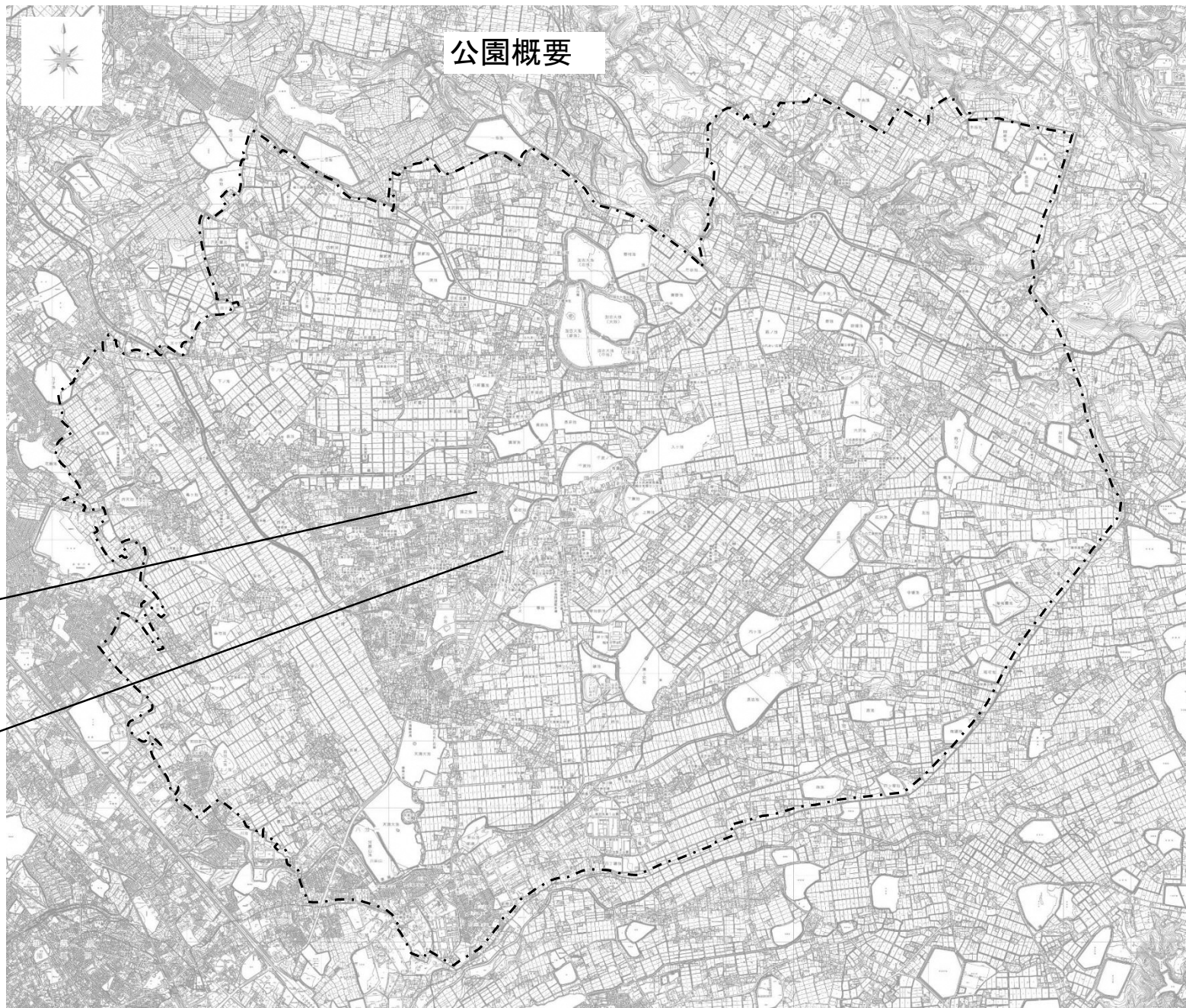
参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	稲美町公園施設長寿命化策定計画による安全・安心な公園づくり（防災・安全）（仮称）		
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）	交付対象	兵庫県加古郡稲美町

公園位置図



公園概要



A1-1 稲美町公園施設長寿命化計画策定調査

A1-2 稲美町公園施設長寿命化対策支援事業

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 稲美町公園施設長寿命化策定計画による安全・安心な公園づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 1) 目標が関係法令等の目的と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が町民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民・民間事業者等と連携して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	R05
配分額 (a)	8	2	20	27	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	8	2	20	27	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	8	2	20	19	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	8	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	2	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (I = (g+h) / (c+d) ) %	0	0	0	7%	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合 その理由					